

第 31 回 発電用設備規格委員会 核融合専門委員会 議事録

1. 日 時：2010 年 8 月 27 日（金）14 時 00 分～18 時 00 分

2. 場 所：日本機械学会 第 2 会議室

3. 出席者：(委員 8 名、代理者 4 名、欠席者 4 名)

中曽根委員長（東理大）、高橋副委員長（電中研）、西村（核科研）、鈴木（中部電力）、井岡（東芝）、宮口（IHI）、田戸（一般）、佐藤幹事（原子力機構）

代理者：三浦（法政大 宮代理）、渡邊（神鋼細井代理）、斉藤（筑波大寺本代理）、釜田（京大星出代理）

欠席者：橋爪（東北大）、野村（関電）、船越（日鑄鍛）古賀（KHI）

事務局：釜田

(以上敬称略)

4. 配布資料

資料 31-1 第 31 回核融合専門委員会議事次第（案）

資料 31-2 第 31 回核融合専門委員会配付資料リスト

資料 31-3-1 第 30 回発電用設備規格委員会 核融合専門委員会 議事録（案）

資料 31-3-2 第 53 回発電用設備規格委員会 議事録（案）

資料 31-4-1 次期専門委員会委員長の選任手続きについて

資料 31-4-2 専門委員会の委員について

資料 31-4-3-1 品質保証・材料分科会の委員について

資料 31-4-3-2 設計・交換技術分科会の委員について

資料 31-4-3-3 溶接・接合・検査分科会の委員について

資料 31-5-1-1 核融合専門委員会投票(No. 16)の結果の通知について

資料 31-5-1-2 「委員会資料取扱い内規提案」の書面投票対応（状況報告）

資料 31-5-2 発電用核融合超伝導マグネット規格の英訳合本版発行の現状について

資料 31-5-3 ASME PVP2010 について

5. 議事

(1) 午後 2 時に開会が宣言された。

(2) 議事次第の承認、資料の確認（資料 31-1、資料 31-2）

議事次第の説明及び資料の確認が行われ、議事次第が承認された。

(3) 前回議事録案の承認（資料 31-3-1）

資料 31-3-1 に基づき、前回議事録案の紹介が行われ、原案通り了承された。

(4) 委員について

(4-1) 専門委員会（資料 31-4-2）

資料 31-4-2 に基づき、核融合専門委員会の再任及び新任の承認について審議依頼があった。委員候補の審議が行われ、船越委員、中曽根委員、高橋委員、宮委員の再任が承認された。また、渡邊氏、三浦氏、閨谷氏の新任が承認された。

(4-2) 品質保証・材料分科会（資料 31-4-3-1）

資料 31-4-3-1 に基づき、品質保証・材料分科会の再任及び新任の承認について審議依頼があった。委員候補の審議が行われ、船越委員、緒形委員の再任が承認された。また、渡邊氏の新任が承認された。

(4-3) 設計・交換技術分科会（資料 31-4-3-2）

資料 31-4-3-2 に基づき、設計・交換技術分科会の再任の承認について審議依頼があった。委員候補の審議が行われ、大森委員の再任が承認された。

(4-4) 溶接・接合・検査分科会（資料 31-4-3-3）

資料 31-4-3-3 に基づき、溶接・接合・検査分科会の再任の承認について審議依頼があった。委員候補の審議が行われ、長谷川委員、大北委員、鎌田委員の再任が承認された。

(5) 次期委員長の選出について

資料 31-4-1 に基づき、事務局より次期核融合専門委員会委員長の選任手続きについて説明があった。

委員の任期と委員長の任期についてコメントがあり、調査の結果委員長の就任時期が確認出来たため、原案通り選出手続きに入ることが確認された。

また、投票期間を2週間に短縮し、選任手続きに入ることが承認された。

(6) 報告事項

(6-1) マグネット規格の発行について（資料 31-5-2）

事務局より、英訳合本版の発行手続きの現状について説明があった。現在、ゲラ刷りの段階であり、9月中旬には発行となる旨の説明があった。規格本体は編集上の修正だけであるため、初版と同じ2008年版であること、初版は絶版となったため、ISBNを取り直したことが併せて説明された。なお、初版購入者へは無料で英訳版と正誤表を送付することも紹介された。

- 外部（外国）からの問合せについて質問があり、機械学会事務局へ確認をとることとした。（会員は機械学会から購入、非会員は丸善から購入することになるとの回答があった。海外からの購入申し込みについては後日丸善に問い合わせ、メールや簡単な紹介パンフレットに記述して海外の関係部署に通知することとした。）

(6-2) 委員会資料の取扱い内規（提案）について（資料 31-5-1-1, 31-5-1-2）

資料 31-5-1-1, 31-5-1-2 に基づき、規格委員会資料の取扱いについて説明があった。公開制と知財保護の観点から、現在ルール作りを進めているところ、との説明があった。核融合専門委員会からは、「賛成」との意見を頂いているが、他の委員会からも含めて現在修正中であり、改めて投票をお願いしたい、とのことであった。

(6-3) 外部への発信について（資料 31-5-3）

資料 31-5-3 に基づき、以下の紹介があった。

- 委員長より本年 7 月に開催された ASME PVP2010 に出席し、関連 4 件の発表があった旨の紹介があった。
- 委員長より、エネルギー連合講演会（プラ核・原子力共催）に出席し、機械学会からの取組みについて講演を行った旨の紹介があった。
- 委員長より、本年 10 月に開催予定の M&M 2010 で企画した本規格関連の OS について、プログラムの紹介があり、10 件の発表があるので奮って参加をお願いするとの報告があった。

(7) その他

次回開催予定

次回専門委員会は 11 月 11 日(木)に開催する。事務局にて調整し各委員へ連絡する。

以上